

平成20年度 決算認定

景気悪化の中、健全財政を維持

整備された用土小学校校庭



9月定例会は「決算議会」とも言われ、前年度の寄居町でのお金の収支（決算）について審議されます。ことしは、この平成20年度決算7議案を含め、平成21年度補正予算等合計18議案及び1件の請願について審議・審査が行われました。

9月定例会 (9/4 ~ 25...22日間)

議案審議 一般質問 決算審議 議案審議
本会議 [9/4・7・15・16・25]
産業建設 総務 文教厚生
常任委員会 [9/8・9・10]



子育てのための環境づくり



企業誘致活動の成果 (折原地内)



盛会に行われた生涯学習まつり



整備の進む下水道男袞幹線 (ポンプ場施設)

一般会計は歳入歳出とも前年度を下回る

昨年度は「世界金融危機」と「世界同時不況」の中で国内生産水準が急激に低下し、景気動向に大きな影響を与えました。こうした中、平成20年度寄居町一般会計は、5つの事業を重点施策に掲げ、「第5次寄居町総合振興計画基本構想」の2年次目として、効果的かつ効率的な行財政運営を目指して執行されました。

結果、本町の平成20年度一般会計決算の歳入合計は、前年度比3・8%減の95億2800万円、歳出合計も同じく4・2%減の90億9000万円となり、ともに前年度を下回る決算額となりました。



一般会計決算に対する討論

反対
討論
今こそ、自治体本来の役割を発揮すべきとき
田母神節子議員

職員の予定外退職などにより人件費が、また、国庫支出金は町営住宅の完了などで減少しましたが、歳入歳出の差し引きでは、チャレンジプランがスタートして3年間毎年黒字。平成20年度決算では実質3億8000万円の黒字です。これは2億9000万円からの不用額から成っています。

労働者の実態把握がされず必要な政策が出されない、同和関連事業の見直しされない、住民要望の見直しもこたえないなど、数字の上では健全財政でも、住民には実感がありません。

賛成
討論
町民要望の政策課題への対応を評価
本間登志子議員

歳出の前年度比4・2%減は行政・職員が積極的に事務の効率化や経費の削減に取り組んだ成果と理解しました。また、歳入減少の中でも財政調整基金からの繰り入れで町民要望の政策課題に対応できた点も評価できます。

子育て支援、教育環境整備、福祉・保健・生活環境整備の推進など、今後も計画的な事業の執行をお願いするとともに、歳出の無駄を徹底的に排除し、効率的な運営で財政の健全化に努めてほしい。

次のページをぜひご覧ください
「一目瞭然！町の財政状況」を掲載